



長崎大学  
NAGASAKI UNIVERSITY

プラネタリーヘルスのために  
Vol.1

# 進化を続ける「知の拠点」

長崎大学は2020年、新たなステージに入りました。4月に開設された情報データ科学部を含め10学部、7研究科、3学域すべてが向かうべき方向として「プラネタリーヘルス」(地球の健康)を掲げ、力強く生き残る人材の教育、多様性を生かした世界トップレベルの研究に打ち込む方針を打ち出しました。本県を代表する「知の拠点」はどのように進化していくの

でしょうか。今月から月1回、合計8回にわたり特集します(予定)。初回は、長崎大学の河野茂学長と、通販大手ジャパネットたかた(佐世保市)の創業者で「A and Live」の高田明社長が、大学が目指すべき姿や人材育成、企業と教育の連携などについて語り合いました。(企画・制作/長崎新聞社メディアビジネス局クロスメディア編集部)

株式会社A and Live社長 高田明氏 (ジャパネットたかた創業者) 対談 長崎大学長 河野茂氏



株式会社A and Live社長 高田明氏  
(ジャパネットたかた創業者)

▽たかた・あきら 1948年生まれ、平戸市出身。大阪経済大経済学部卒。74年に父が経営する「カメラのたかた」入社。86年に「たかた」(現ジャパネットたかた)を設立した。ラジオやテレビの通信販売に参入し、業界大手に押し上げた。2015年に社長を退任し「A and Live」を設立。17年から20年1月までV・ファーレン長崎社長。



長崎大学長 河野茂氏

▽この・しげる 1950年生まれ、東波佐佐見町出身。長崎大医学部卒、同大学院医学研究科修了。医学部教授を経て、2006年から医学部長、2009年から長崎大学理事・病院長、2014年から理事・副学長を歴任した。専門は呼吸器感染症。2017年10月から長崎大学長を務めている。

## 「地球の健康」に貢献する大学へ

### 情報データ科学部が 始動

河野 長崎大学は2020年度、高度なプログラミングやデータ分析などを学ぶ「情報データ科学部」を新たに設け、時代に即した取り組みが目まぐるしく進んでいます。

### 他人と比べず 階段が上がって

高田 高田社長は、ジャパネットたかたの創業者で、今では日本を代表する通信販売会社に育て上げられた。

### 失敗恐れぬチャレンジ精神に期待

高田 「ただ、目の前にあることをやれ」というのが僕の方で、通販の世界に入ってラジコ、テレビ、インターネットに進出して、インターネットに比べると、まだ前には見られない。高田 優秀な人材はいる。優秀な人材を育てるからこその思いですが、人材育成の極意はありますか。

高田 「ただ、目の前にあることをやれ」というのが僕の方で、通販の世界に入ってラジコ、テレビ、インターネットに進出して、インターネットに比べると、まだ前には見られない。高田 優秀な人材はいる。優秀な人材を育てるからこその思いですが、人材育成の極意はありますか。

### 「起業家精神」 育む講座

河野 学生が教科書や机で学ぶ以外に、社会の要望を感じて自分で考えて行動する意味では、教育の一つの手段として良い方法です。「必ずしも起業家になれ」という意味ではないんです。大学という環境の中で、失敗を繰り返しながら学び、トレーニングを積んで社会に出て本物になってくれないかとの期待を込めて、アントレプレナー教育をスタートするわけです。

### 学長が教職員 3000人に メールで呼びかけ

高田 人の幸せに寄与するために、我々は生きていくんだと思います。大学が熱帯医学や感染症などさまざまな問題に向き合うことにしても、人を幸せにしたいという点で同じだと思います。長崎大学では、感染症研究施設「バイオセーフティレベル4(BSL4)」の建設、長崎大核兵器廃絶研究センター(REBCNA)の活動のほか、ケニアに医療支援に行ったり、(東京電力福島第1原発事故)の現地に行くなど、多様な活動を行っています。目に見えない活動も、もっと発信してもらえればと思います。伝わるのが大事です。

## 時代に即した教育、幸せに寄与する研究

高田 大学と企業が連携するのは賛成です。それに学長が言った、打たれ強さはすごく大事です。僕は勝手に「人生に失敗はない」と言っています。プロセスの中でどれだけ自分がチャレンジしたかが人生だから。僕も、2年間で売り上げが600億円上がった。うまくいかないことはありましたが、それを失敗と思わずチャレンジし続けた結果、なんとかやってこれた。若い人たちはチャレンジする精神を持ってもらいたいです。

### プラネタリーヘルス(地球の健康)とは

地球環境に多大な影響を及ぼす人間の政治、経済、社会システムに真摯に向き合い、人の健康と地球環境の密接な関係に注目することを通して、健康、福祉の増進と公平な社会を目指すこととされる。地球温暖化、宗教や政治の対立、核兵器の存在など、地球の健康を脅かす課題が山積する中、長崎大学は、熱帯医学、感染症、放射線医療科学分野での優れた実績も基盤に、プラネタリーヘルスを実現するための取り組みを進めていく考え。



長崎大学文芸教養キャンパス内で語り合う河野氏(右)と高田氏。大学と企業の連携についても意見交換した。



国立大学法人 長崎大学  
NAGASAKI UNIVERSITY



For Planetary Health, Nagasaki University

# 地球の健康のために 貢献する長崎大学



for Planetary Health, Nagasaki University

プラネタリーヘルスに取り組む長崎大学を象徴するロゴマークを2020年4月制定しました

### 《創立》

安政4(1857)年11月12日、オランダ軍医ボンペ・ファン・メルデルフォルトが、幕府医官松本良順をはじめとする12名に対し、オランダ語による医学講義を開始した。この医学部の起源である医学伝習所の設置が長崎大学の創基である。

### 《学部》

10学部(収容定員:7,059名)  
多文化社会学部、教育学部、経済学部、医学部、歯学部、薬学部、情報データ科学部、工学部、環境科学部、水産学部

### 《大学院》

7研究科(収容定員:1,433名)  
多文化社会学研究科、教育学研究科、経済学研究科、工学研究科、水産・環境科学総合研究科、歯歯薬学総合研究科、熱帯医学・グローバルヘルス研究科

